



処理されるトラップ、パススルー トラップ、および識別されていない トラップとイベント

SNMP トラップの中には、IP Communications Operations Manager (Operations Manager) が通常のトラップとして処理するものと、パススルー トラップとして取り扱うものがあります。パススルー トラップは、Unidentified Trap (未確認トラップ) グループまたはバケットに入れられます。つまり、Operations Manager は、パススルー トラップをデバイス タイプおよびイベント名 Unidentified Trap の両方と一緒に、Alert and Events 画面に表示します。

Unidentified Trap バケットは、その他の異常なトラップやイベントの保留場所でもあります。次のトピックで、これらのトラップとイベント、および Operations Manager がそれら进行处理する方法について説明します。

- [処理される SNMP トラップ \(P.B-2\)](#)
- [識別されていないパススルー SNMP トラップ \(P.B-5\)](#)
- [その他の識別されていないトラップとイベント \(P.B-7\)](#)

処理される SNMP トラップ

Operations Manager は特定の SNMP トラップを受信すると、SNMP トラップメッセージごとに次のフィールドにあるデータを分析し、必要な場合はオブジェクトプロパティのプロパティ値を変更します。

- Enterprise (エージェント / オブジェクトの sysObjectID)
- Generic Trap Identifier (汎用トラップ識別子)
- Specific Trap Identifier (固有トラップ識別子)
- Variable-Bindings
- SNMP エージェントの IP アドレス



(注) 電子メール受信者またはホストマシンに固有トラップを転送する場合は、通知を使用します。第 14 章「通知の使用方法」を参照してください。

複数の処理される SNMP トラップと表示されるイベント詳細

Operations Manager は、固有トラップごとに 1 つずつイベントを生成します (P.B-2 の「処理される SNMP トラップと対応する Operations Manager イベント」を参照)。それ以降のトラップが同一の固有トラップ識別子を持ちオブジェクト値が異なるだけの場合は、Operations Manager は、そのトラップがクリアされるまで何も実行しません。Operations Manager が SNMP トラップをクリアするまでに約 10 分かかります。

このため、Event Details 画面 (Alerts and Events 画面からアクセス可能) には、イベントを生成した最初のトラップから取得した情報が表示されます。たとえば、最初のトラップに Extension 101 が含まれており、それ以降のトラップに Extension 102 や Extension 103 が含まれていた場合でも、引き続き Extension 101 が表示されます。Operations Manager は、トラップをクリアし、デバイスから同一の固有トラップを受信した後にだけ、この情報を更新します。

処理される SNMP トラップと対応する Operations Manager イベント

ここでは、Operations Manager が処理するトラップと、トラップごとに Operations Manager が生成するイベントを一覧します。

処理される標準 SNMP トラップ (RFC 1215)

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
Cold Start	RepeatedRestarts
Warm Start	
Link Up	Flapping
Link Down	

処理される CISCO-STACK-MIB トラップ

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
Module Up	CardDown
Module Down	

処理される CISCO-ISDN-MIB トラップ

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
demandNbrLayer2Change	OperationallyDown

処理される CISCO-SYSLOG-MIB トラップ

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
MOSviolation	ServiceQualityIssue
ProbeUnreachable	Cisco1040ProbeDown

処理される CPQHLTH-MIB トラップ

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
cpqHeThermalSystemFanFailed	FanDown
cpqHeThermalSystemFanDegraded	FanDegraded
cpqHeThermalTempFailed	TemperatureSensorDown
cpqHeThermalTempDegraded	TemperatureSensorDegraded

処理される CISCO-UNITY-EXPRESS-MIB トラップ

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
ciscoUnityExpressApplAlert	CUEApplicationStatusChange
ciscoUnityExpressStorageAlert	CUEStorageIssue
ciscoUnityExpressSecurityAlert	CUESecurityIssue
ciscoUnityExpressCallMgrAlert	CUECCMConnectionLost
ciscoUnityExpressRescExhausted	CUEResourceExhausted
ciscoUnityExpressBackupAlert	CUEBackupFailed
ciscoUnityExpressNTPAlert	CUENTPIssue

処理される CISCO-CCME-MIB トラップ

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
ccmeEphoneDeceased	CCMEEphoneDeceased
ccmeEphoneLoginFailed	CCMEEphoneLoginFailed
ccmeEphoneRegFailed	CCMEEphoneRegistrationFailed

■ 処理される SNMP トラップ

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
ccmeEphoneUnRegThresholdExceed	CCMEEphoneRegistrationsExceeded
ccmeKeyEphoneRegChangeNotif	CCMEKeyEphoneRegistrationChange
ccmeLivefeedMohFailedNotif	CCMELivefeedMOHFailed
ccmeMaxConferenceNotif	CCMEMaximumConferencesExceeded
ccmeNightServiceChangeNotif	CCMENightServiceChange
ccmeStatusChangeNotif	CCMEStatusChange

処理される CISCO-SRST-MIB トラップ

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
csrstFailNotif	SRSTRouterFailure

処理される CISCO-CONTACT-CENTER-APPS-MIB トラップ

SNMP トラップ	対応する Operations Manager イベント
cccaIcmEvent	IPCCNotification

識別されていないパススルー SNMP トラップ

パススルートラップとは、Operations Manager インベントリに存在しないデバイスから Operations Manager が受信したトラップです。これらのトラップは、障害モニタリングに関連しているため、Alerts and Events 画面に表示されます。パススルートラップは、次のように表示されます。

- 次のいずれかのイベントとして表示される
 - InformAlarm
 - MinorAlarm
 - MajorAlarm
- デバイスタイプおよび名前 Unidentified Trap と一緒に表示される

Operations Manager は、Operations Manager が管理しているデバイスからトラップが送信された場合にはこれらのトラップを識別できません。そのため、識別されていないトラップとして All Alerts ビューに表示されます。



(注)

識別されていないトラップに分類されるイベントがすべてパススルートラップであるとは限りません。P.B-7の「その他の識別されていないトラップとイベント」を参照してください。

イベントプロパティ画面に実際のトラップを表示するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** Alerts and Events 画面で、識別されていないトラップのアラート ID を検索します。
- ステップ 2** 識別されていないトラップに対応するアラート ID をクリックします。Alert Details ページが表示されます。
- ステップ 3** イベント ID をクリックします。イベントプロパティページが表示され、パススルートラップに関する情報が示されます。

Operations Manager は、次のトラップをパススルートラップとして扱います。

パススルー標準 SNMP トラップ (RFC 1215)

- Authentication Failure

パススルー CISCO-STACK-MIB トラップ

- IerAlarmOn
- IerAlarmOff
- ipPermitDeniedTrap
- sysConfigChangeTrap

パススルー STP トラップ

- STPnewRoot
- STPtopologyChange

■ 識別されていないパススルー SNMP トラップ

パススルー リピータ MIB トラップ

- rptrHealth
- rptrGroupChange
- rptrResetEvent

パススルー CISCO-RHINO-MIB トラップ

- ciscoLS1010ChassisFailureNotification
- ciscoLS1010ChassisChangeNotification

パススルー CISCO-VTP-MIB トラップ

- vtpConfigRevNumberErro
- rvtpConfigDigestError
- vtpServerDisabled
- vtpMtuTooBig
- vtpVlanRingNumberConfigConflict
- vtpVersionOneDeviceDetected
- vlanTrunkPortDynamicStatusChange

パススルー CISCO-ENVMON-MIB トラップ

- ciscoEnvMonShutdownNotification

パススルー CISCO-VLAN-MEMBERSHIP-MIB トラップ

- vmVmmpsChange

パススルー CISCO-ACCESS-ENVMON-MIB トラップ

- caemTemperatureNotification
- caemVoltageNotification

パススルー CISCO-CONFIG-MAN-MIB トラップ

- ciscoConfigManEvent

パススルー CISCO-ENTITY-FRU-CONTROL-MIB トラップ

- cevFan15540FTMP
- cevPortTransparent
- cevPortWave

パススルー CISCO-VOICE-APPS-MIB トラップ

- evaModuleStart
- evaModuleStop
- evaProcessStart
- evaProcessStop
- evaModuleRunTimeFailure

パススルー CISCO-CCM-MIB トラップ

- ccmGatewayFailed
- ccmMediaResourceListExhausted
- ccmCallManagerFailed
- ccmGatewayLayer2Change

パススルー UMSEVENT-MIB トラップ

- iBMPSGFanEventBindings
- iBMPSGTemperatureEventBindings
- iBMPSGVoltageEventBindings

その他の識別されていないトラップとイベント

Unidentified Trap パケットには、パススルートラップ以外のトラップとその他の予想外の Operations Manager イベントが含まれる場合があります。次の場合に、このようなことが発生します。

- Operations Manager によって検出されたデバイスでイベントが発生した場合
- Operations Manager の監視対象外のデバイス (Cisco 1040 センサなど) でイベントが発生した場合
- Operations Manager が動作中に問題を検出した場合
- Operations Manager サーバの負荷が高く、統合模擬テストを実行できない場合 (SyntheticTestNotRun イベントは、特定のデバイスに関連していないため、認識されていないトラップとして表示されます)。

■ その他の識別されていないトラップとイベント